

えんだより



社会福祉法人 晴光会

光沢寺保育園

〒803-0827 小倉北区緑ヶ丘 1-8-14

093 (571) 1706

<http://koutakuji.net/hoikuen/>



今月のことば

寒い日が続いていきます。先日の雪はあっという間に北九州を銀世界にし、大人はどうやって出勤しようかと等と困惑しましたが、子どもたちは、雪だるまを作ったり、テントに連なるつららを取ったりと、大喜びでした。遊び心いっぱい保育者たちは、翌日も雪予報だとわかると、タライやバケツに水を張り、「明日の朝、氷になつてるかな？」と、珍しい九州の雪を楽しんでいました。四季を楽しめるのが日本の良い所ですが、昨今の頃は、こんな1年になるとは予想もしていませんでした。桜も、ふじの花見も、夏の暑さの中で行う水遊びも、秋の色づく葉っぱを集めたり、いもほり遠足に出かけたりと、例年のように子どもたちと一緒に季節の行事を存分に楽しめなかったことが心残りです。しかし、寒さにも戸惑うことなく雪あそびをする子どもたちの姿に、未来を見て前進する元気をもらいました。止まることのない子どもたちの成長を、目の前の出来る事を一つひとつ丁寧に積み重ねながら、見守っていききたいと思います。

間もなく立春。今年の立春は2月3日、節分は2月2日になります。(節分が2月2日になるのは124年ぶりだそうです。)年明け保育園にオニから寒中見舞いが届きましたが、いつも遊びに来てくれるオニたちも今年はコロナウィルスでなかなか鬼ヶ島から出られないようです。子どもたちは、ドキドキしながらオニオニポストに毎日手紙を投函してやりとりを楽しんでいます。

鬼と共に、コロナウィルスも含む悪い邪気が払われますようお願いばかりです。

玉中 好美

パパ・ママへのメッセージ

『子どもの作品への思いを大切に』

1 回目の緊急事態宣言が発出され多くの方に協力いただきスタートした4月。あっという間に時は過ぎ、あと2ヶ月で進級となります。年長組は“世界にたった一冊の絵本”制作に、コツコツと取り組んでいます。子ども一人一人がストーリーから表現方法まで工夫をこらし、「こうしたいけど、どんな方法がいいかなあ?」と、困った時には一緒に考えてくれる友だちや保育者に助けられています。相談するとアイデアがひらめき、イメージがさらに膨らんでいき、つくることが楽しくて仕方がないようです。

0~1歳児は「あんよ」ができるようになると探索しながら自分の手や指先を使ってペットボトルに小さな物を入れたり出したり、シールを剥がしたり貼ったりしてあそびます。少しずつ器用になり、2,3歳児頃になると、砂あそびや泥んこあそび・お絵かき・積み木・ブロック・粘土など夢中になってあそびこみます。4,5歳児はみんなに自分の作品を認められた嬉しさが自信につながります。そして、材料や道具を自分で選んで、上手に使い、友だち同士で刺激し合って、創ることのおもしろさを感じられるようになります。

毎年保護者の皆様には当園の作品展をご家族で観覧いただいておりますが、先月号でお知らせしましたように、2回目の緊急事態宣言が発出されていますので、“お家作品展”といたします。

保育園内で、子ども同士で見合うミニ作品展と年間の作品集、冊子をご家庭で見ただけのよう準備中です。コロナウィルス感染拡大防止から変化していく新しい生活様式の中でも、遅しく成長している子ども達を認め、表現する楽しさを共感していただけたらと思います。

〈ながいし・あつこ〉

今月の予定

- 2日(火) 節分(124年ぶりに、日付が移動になっています)
- 3日(水) 立春(春は、すぐそこまでやってきましたね)
- 25日(木) 誕生会



Growing UP!

光沢寺保育園には、毎年個性あふれる鬼が遊びに来てくれます。5歳児になると、鬼にも人間のような感情があることが分かっている様で「ぼく鬼と友達になりたいな」と、手紙を書いてくれました。次の日、オニの石が黄緑色に…。鬼から返事も届き、大喜びです。やり取りを楽しみながら、節分を迎えたいと思います。

